



MP RACING

SUGO SUPER TAIKYU 3Hours Race

SUPER TAIKYU SERIES 2021 Powered by Hankook Round 2

カテゴリー	: スーパー耐久シリーズ 2021 Powered by Hankook ST-X クラス	公式予選 A Dr.	: 1'36.254 (ST-X クラス 5 位)
エントラント	: MP Racing	公式予選 B Dr.	: 1'31.488 (ST-X クラス 4 位)
カーナンバー	: 9	公式予選 (A/B 合算)	: 3'07.742 (ST-X クラス 4 位)
マシン名称	: MP Racing GT-R	公式予選 C Dr.	: 1'25.316 (ST-X クラス 3 位)
ドライバー	: JOE SHINDO・柴田優作・影山正美・井上恵一	公式予選 D Dr.	: 1'29.612 (ST-X クラス 2 位)
大会名称	: スーパー耐久シリーズ 2021 Powered by Hankook 第 2 戦 SUGO SUPER TAIKYU 3Hours Race	決勝	: DNF (2:16'54.513 / 95 周)
レース時間	: 3 時間		
開催地	: スポーツランド SUGO(宮城県)		
開催日	: 2021.4.17~2021.4.18		
天候	: 雨 / 曇り (4.17) 晴れ (4.18)		



スーパー耐久シリーズ 2021 Powered by Hankook 第2戦” SUGO SUPER TAIKYU 3Hours Race” が宮城県のスポーツランド SUGO で 4月17日から18日にかけて開催され、MP Racingからは JOE SHINDO、柴田優作、影山正美、井上恵一の4選手がエントリーした。今回の菅生大会はコース全長が3.586kmと非常に短く、またコース幅も狭いことから、安全性を考慮してグループを分けて2レース開催となり、MP RacingがエントリーするST-Xクラスはグループ1(ST-X、ST-Z、ST-Q、ST-TCR、ST-1)のレースに出走となった。

4月17日(土) 公式予選

4月17日に行われた予選はあいにくの雨によりウェットコンディションの中で行われた。

Aドライバー予選ではJOEが、雨脚がやみ始めていたが、滑りやすい路面コンディションでのアタックで1分36秒254をマークし5番手につけた。

続くBドライバー予選は柴田が、コンディション変化に対応すべくセッション中にタイヤ交換を行い、1分31秒488で4番手のタイムを記録した。

またアタックの機会はなかったがセッション終盤にはタイヤの内圧のアジャストを行い、ハンコックタイヤのデータを少しでも多く得るべく、予選セッションの時間を活用した。

Cドライバー予選、Dドライバー予選は影山と井上が出走し、フルタンク状態でのマシンセットの確認など決勝レースを見据えた準備と並行してアタックを行い、基準タイムをクリアした。

刻々と変化する難しいコンディションでの予選となったが、タイム合算の結果、3分07秒742で4位となった。



4月18日(日) 決勝

予選日から一転、快晴に見舞われたスポーツランド SUGO だが、非常に強い風が吹き付けて肌寒さを感じるコンディションとなった。

1周のフォーメーションラップを経て、13時57分にグループ1決勝がスタートした。スタートドライバーを務めた影山は抜群のスタートを決め、1コーナーで##777アストンマーティンを、そして続く4コーナー#290マクラーレンを立て続けにかわし、2位に浮上する。影山は気迫あふれる走りてトップの#31 RC-Fにプレッシャーをかけ続け、15周目についに#31の攻略に成功した。

トップに浮上した後も影山はタイヤのマネジメントを行いながらも好ペースで周回を重ねていった。今回ライバル勢の多くがスタートでジェントルマンドライバーを起用する中、エキスパートドライバーを起用したのはMP Racingと#31のみ。そのためMP Racingは最初のピットインタイミングを#31の動向を見て行うことに。45周を終えた#31がピットイン。これを見て影山はフルプッシュでスパートをかける。

48周を終え、MP Racingが最初のピットストップ。迅速な作業でコースに送り出し、トップをキープしたままレースに復帰した。

次のスティントは柴田が担当。ピットアウト直後に#31に交わされ一時は2位に後退するも、58周目のSPアウトコーナーで首位に振り返る。



柴田はその後順位を明け渡すことなく自身のスティントを終え、89 周目に 2 回目のピットイン。JOE に最後のスティントを託す。

20 秒以上のマージンを保持したまま首位で復帰した JOE。残り 1 時間を切り、初優勝に向けて順調に進んでいた。

しかし 96 周目、MP Racing に悲劇が起こる。

SP アウトコーナー立ち上がりで JOE の真横にいた ST-Z クラスのマシンがスピン。JOE の右側に接触。予期せぬアクシデントになす術なくコース外側に弾き飛ばされた JOE。マシンは大破してしまった。

レース続行は不可能となり MP Racing は参戦以来初のリタイヤで第 2 戦を終えることとなった。

まずはドライバーの容態を心配いただいた皆様にお礼申し上げます。

激しいクラッシュでしたがドライバーが無事だったことに安堵しております。

今回のレースはとても良い走りをお見せできていただけに、リタイヤとなってしまったことが本当に残念です。

次戦富士 24H はシリーズ最大の山場であり、シリーズタイトル争いに重要な一戦となります。

気持ちを切り替え、次戦こそは勝利できるよう頑張ります。

引き続き皆様のご声援、ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。